

No.	020	—	1007	事務事業名	消防本部・署車両更新事務						公的関与	2	
PLAN	課名	警防課		係名	警防係		電話番号	089-964-5217		メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ハード事業			事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実			主要施策	2 消防・救急体制の充実		
	事業の目的	消防活動で使用する老朽化した車両を更新し、消防・救急体制の充実と被害の軽減を図るため。						根拠法令等	消防法、消防組織法、消防力の整備指針				
	事業の手段	消防本部の消防車両更新計画に基づき、計画的に消防車両、救急車を更新します。						掲載計画	東温市国土強靱化地域計画				
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		更新台数		台数			台	目標	0	1	1	随時	
								実績	0	0			
								目標					
								実績					
						目標							
DO	活動内容	① 消防本部における消防車両の更新計画の作成・見直し				④							
		② 更新設定年数の調査・見直し				⑤							
		③ 更新車両の仕様書の作成・見直し											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費			
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		計(A)	0 千円	0 千円	0 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.152 人	959 千円	0.152 人	959 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		0 千円		959 千円		959 千円							
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	緊急的な災害への対応には消防車両が必要不可欠であるため、消防体制を維持するために、計画的な更新が必要です。												
有効性	老朽化した車両を最新の車両に更新することにより、機能強化が図られ、災害対応能力が向上します。												
達成度	消防車両の耐用年数を設定し計画的に行っていますが、厳しい財政状況もあり、更新計画どおりに進んでいません。												
効率性	老朽化、機能低下した車両を更新することにより、多種多様化する災害に対応できる最新鋭の車両に更新できます。												
当面の課題	更新年数に近い又は経過している車両については故障、修理が増加傾向にあります。消防車両を長く使用できるように日々の点検、法定点検等を行い、車両の長寿命化を図る必要があります。												
改計画	厳しい財政状況下でも計画的に車両更新を行う必要があるため、消防車両の耐用年数を見直し、適正な車両更新計画を策定します。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	消防力の低下を招くことなく各種災害に対応する必要があるため、厳しい財政状況ではありますが有利な起債等を活用し、車両更新計画に基づき効率よく計画的に車両更新を推進します。 車両更新計画については、可能なものは耐用年数を延伸する等、計画の見直しが必要です。												

No.	020	—	3042	事務事業名	松山圏域消防指令センター整備事業						公的関与	2	
PLAN	課名	警防課		係名	通信指令係		電話番号	089-964-5217		メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	令和3年度～令和6年度			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	2 消防・救急体制の充実				
	事業の目的	松山圏域3消防本部で消防指令の共同運用を行う事で、業務が効率化され、経費が削減できるとともに、消防本部間の連携と情報の共有化が可能となるため。						根拠法令等					
	事業の手段	松山市・伊予消防等事務組合・東温市消防指令事務協議会を設置し、諸問題等の解決のため随時作業部会を開催し協議を行います。						掲載計画	第2期まつやま圏域未来共創ビジョン				
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標		
		効率的な整備		担当者協議や調達仕様書を作成し効率的な整備を行います。			%	目標 30	50	80	100		
		相互応援体制の強化		協議会を設置し、各担当部会で協議を行います。			%	目標 10	30	50	100		
		各種情報の収集		既に共同運用を開始している消防本局の視察等を行います。			回	目標 2	4	3	10		
								実績 30	50				
						実績 10	30						
DO	活動内容	① 通信部会				④							
		② 先進地研修				⑤							
		③ 通信部会以外の各種部会											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費			
	直接事業費			令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	備考						
		国・県支出金		0千円	0千円	0千円							
		地方債		0千円	1,700千円	44,800千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		288千円	154千円	227千円							
	計(A)		288千円	1,854千円	45,027千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.312人	1,969千円	0.312人	1,969千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		288千円	3,823千円	46,996千円									
一次評価者	通信指令係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	現在の通信指令台の老朽化もあり、指令台の更新は急務です。また、共同運用を行うことで、経費の削減や住民サービスの向上が見込まれます。												
有効性	今後協議を進めることで、相互応援体制の更なる充実が見込まれ、住民サービスの向上に繋がります。												
達成度	通信部会で協議を重ね、大幅な経費の削減や住民サービスの向上が見込まれる松山圏域消防指令センター調達仕様書を作成します。												
効率性	各種作業部会で協議を行い、国の財政措置等の活用など、効率的な共同整備の検討を行います。												
当面の課題	大規模災害等の複雑・多様化する災害に適切に対応しなければならないため、限られた人的・財政的な資源を有効に活用し、持続可能な消防体制を整備・確立していく必要があります。												
改計画	柔軟かつ臨機応変な相互応援体制の構築や市町境界地域での直近指令やゼロ隊運用等の高度な運用について検討します。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	事務協議会が設置され、松山圏域消防指令センターの整備が本格的に始まります。システムの整備をはじめ、持続可能な消防体制を整備するため、相互応援体制の構築など部隊運用についても協議を進めてください。												